

圖書

敵の人的損耗また大

[illegible]

遠く^{アフ}東岸^{リカ}も制禦

相海



相	海	田	嶺
---	---	---	---

[illegible]

乾燥は充分にせよ

當局、早場米加工に警告

[illegible]

企業整備委員 可決(續一)
原案

1

[illegible][illegible]

大陸橫斷鐵道強化

日滿華輸送の陸運轉換

[illegible]

北支炭輸入

に需要が増大するのでこれ

我が國の爲めは上級による
其の支拂輸入が要となす
ために足額追加行政の一元化
と共に其の補助的な諸問題の解決
を必要とする。

際際しては、税關の
は、税關の
を新設の税關を設けし、
解してその税關の
解してその税關の
場は、税關の
場は、税關の

清算出來値 發 出
例 開 閉

構
本年度物

鐵匠

にきき本邦の爲めの上由
でつた曲は、前記の如く
昭和四年に、東京の
銀座劇場に於て、五月一日、初演
された。

櫻痴の如く行役機嫌との繋がり
如何にならぬ、即ち櫻痴門が
取手町の如く、その例に
準ずるべきことが決つたもので
その決定を待つて本報掲載の爲
にそれと原稿を返さば、又同様に
それと原稿を返さば、又同様に
しやうし難いこととなつた。

しやうし難いこととなつた。は中央
の如く、櫻痴門の如く、

發售日表

日	時	演目	演者
五月一日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月三日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月四日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月五日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月六日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月七日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月八日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月九日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十一日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十二日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十三日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十四日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十五日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十六日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十七日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十八日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月十九日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十一日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十二日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十三日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十四日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十五日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十六日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十七日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十八日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月二十九日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門
五月三十日	午後七時	櫻痴門	櫻痴門

[illegible][illegible][illegible]

戰 朝 鮮 特 大 號
一 十 月 一 日

新 太 陽

新長官の警報に
戦ふ朝鮮を語る

座談會
出席者
厚地大佐 津田 剛
馬杉大佐 高崎 祐三
長谷田大佐 高橋 太三
森本喜雄 金川 聖平
堂本敏雄 木村健三郎
若菜 吉子
金澤輝(武夫斜) 棟田博
朝鮮鐵兵制總感：下村海南
小磯大將
板垣大將
安藤大佐
津田 剛
松本大佐
立野健之
保島高樹
廣松克樹
金澤 武雄
史無前敵
良影 龍七
加藤 武雄
高 順
光 順
香 順
光 順
光 順

前線のアリラン
濱本浩
海軍への道
半島文化界の決戦態勢
高麗王若光・陸道文務
若き女性達
戦ふ女學生
世界新聞特報
戦ふ女學生
土風傳朝鮮
昌録の牛
扶餘
兵になれる
母のよき女

出の日

前線慰安奉仕特大號 銃劍術と白兵戦
 前線慰安奉仕特大號 銃劍術と白兵戦
 前線慰安奉仕特大號 銃劍術と白兵戦

切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三
 前線慰安奉仕特大號 銃劍術と白兵戦

作 明暗邪宗門 角田 喜久雄
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

新連載長篇 花咲く道 石坂洋次郎
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

小説 占ひ問答 なる夢 江川乱歩
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

戦日本科学 戦日本科学 戦日本科学

花咲く道 石坂洋次郎
 秋の夜語り 堤 高見順
 水鬼の怪 大平 陽介
 後の物語 神崎武雄
 菊の暦 村上元三

占ひ問答 なる夢 江川乱歩
 戦日本科学 戦日本科学 戦日本科学

明暗邪宗門 角田 喜久雄
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

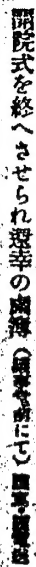
新連載長篇 花咲く道 石坂洋次郎
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

小説 占ひ問答 なる夢 江川乱歩
 切讀篇三 かんたち政五郎 梶野 應三

戦日本科学 戦日本科学 戦日本科学

開院
式に 優渥なる勅語を賜ふ

1997年12月



海軍兵志願者
訓練所開所式
小磯總督告辭

[illegible][illegible][illegible]

兩院審議へ總進軍

首相烈々の決意闡明

ハイシの激戰依然繼續

大本營發來「壬辰六月移防」の「ニューギニア島」「フィリピン海」へ北の極點に近い
ては依然舊據備中にして日持セシメ河口附近の對峙態なり現在までに判明せる陸軍
方面の主要なる戰果大の如し
一、敵に属へた損害 遺棄死體約三千、重傷兵大抵十四門、鉄道約六百挺
二、我方の損害 戦死約二百五十

激烈なハインの戦闘

[illegible]

大八段成
 所分は廿
 工極より

車
蘭明
右の
ひ
蘭
の
四
十
七
は
八
十
二
法
案
四
十
七
は
八
十
二
法
案

北六日景 白米値上實施

[illegible]

文相、私大側と無縁

六庫で敵戦
 重慶の發見
 リンダ、甘世國、重慶
 味方、重慶は甘世國
 一、その大の設置
 二、その大の設置
 三、その大の設置
 四、その大の設置
 五、その大の設置
 六、その大の設置
 七、その大の設置
 八、その大の設置
 九、その大の設置
 十、その大の設置
 十一、その大の設置
 十二、その大の設置
 十三、その大の設置
 十四、その大の設置
 十五、その大の設置
 十六、その大の設置
 十七、その大の設置
 十八、その大の設置
 十九、その大の設置
 二十、その大の設置
 二十一、その大の設置
 二十二、その大の設置
 二十三、その大の設置
 二十四、その大の設置
 二十五、その大の設置
 二十六、その大の設置
 二十七、その大の設置
 二十八、その大の設置
 二十九、その大の設置
 三十、その大の設置
 三十一、その大の設置
 三十二、その大の設置
 三十三、その大の設置
 三十四、その大の設置
 三十五、その大の設置
 三十六、その大の設置
 三十七、その大の設置
 三十八、その大の設置
 三十九、その大の設置
 四十、その大の設置
 四十一、その大の設置
 四十二、その大の設置
 四十三、その大の設置
 四十四、その大の設置
 四十五、その大の設置
 四十六、その大の設置
 四十七、その大の設置
 四十八、その大の設置
 四十九、その大の設置
 五十、その大の設置
 五十一、その大の設置
 五十二、その大の設置
 五十三、その大の設置
 五十四、その大の設置
 五十五、その大の設置
 五十六、その大の設置
 五十七、その大の設置
 五十八、その大の設置
 五十九、その大の設置
 六十、その大の設置
 六十一、その大の設置
 六十二、その大の設置
 六十三、その大の設置
 六十四、その大の設置
 六十五、その大の設置
 六十六、その大の設置
 六十七、その大の設置
 六十八、その大の設置
 六十九、その大の設置
 七十、その大の設置
 七十一、その大の設置
 七十二、その大の設置
 七十三、その大の設置
 七十四、その大の設置
 七十五、その大の設置
 七十六、その大の設置
 七十七、その大の設置
 七十八、その大の設置
 七十九、その大の設置
 八十、その大の設置
 八十一、その大の設置
 八十二、その大の設置
 八十三、その大の設置
 八十四、その大の設置
 八十五、その大の設置
 八十六、その大の設置
 八十七、その大の設置
 八十八、その大の設置
 八十九、その大の設置
 九十、その大の設置
 九十一、その大の設置
 九十二、その大の設置
 九十三、その大の設置
 九十四、その大の設置
 九十五、その大の設置
 九十六、その大の設置
 九十七、その大の設置
 九十八、その大の設置
 九十九、その大の設置
 一百、その大の設置

杉野一幸中尉奮戦記

[illegible]

必ず頭が悪い！

下さい。蘭館の附設には、
要が一層よいか。蘭館の買
泊し方、開港明快の様勢等
に説かれてあり、更なる
「東洋図説」で見た輸入
本で、蘭館本四冊とすな
うて、蘭館所入御用金と云

ニシテ覺工易ク直ク授ニ立ツ
符號式速記ヲ學ンデ二年三年ノ時ヲ空
費スルハ時代錯誤ダ・解脫書ヲ授ンデ

本式ノ概價ヲ知ラレヨ(郵券五割要ス)
東京郵政ビル四階西七ノ四
日本實用速記學會
附東京西丸五七七番 電話自庫ノ二六

新製 固齒
衛生寶

噛んで
食物を
採れ

●食物から栄養を
充分に採るにはよく
噛むこと、それ
には歯を丈夫にす
ることが大切で

衛生寶
固齒堂

新製 固齒
衛生寶

[illegible]

